

鉄道事業の旅客運賃変更の認可申請について

WILLER TRAINS 株式会社（本社：京都府宮津市、代表取締役社長：寒竹 聖一）では、本日 8 月 7 日（水）近畿運輸局長宛に鉄道事業の旅客運賃変更の認可申請を行いました。申請理由及び内容は以下の通りです。

1.申請の内容

（1）申請理由

当社は丹後、丹波、但馬地域を結ぶ基幹路線および地域の生活交通としての役割を果たしており、また、天橋立大江山国定公園を有する地域の観光客輸送も担っております。最近の利用者数は人口減少、地域活力の低下、自動車利用を前提とした社会への変容等により、平成 4 年度の 303 万人をピークに減り続け、平成 26 年には 184.3 万人にまで落ち込みました。そのため、線路等の施設および車両を第三セクターとしてこれまで運行にあっていた北近畿タンゴ鉄道が保有し、民間会社である当社が運営を担う上下分離方式を採用し、国の支援のもと鉄道事業再構築計画を策定し、経営改善に努めて参りました。上下分離での開業後は、列車を増便のうえ、各ターミナル駅を 1 時間毎にほぼ同じ時刻に発車させるパターンダイヤを導入し、利用者にわかりやすいダイヤとすることでの利便性向上、丹後の海車両（水戸岡鋭治氏デザインによる特急車両）へのリニューアル、地元農家の特産品を道の駅最寄駅まで、座席足元の専用スペースに積んで運搬する貨客混載事業、地域のイベントと連携した企画きっぷの発売、車内での様々なイベント企画の実施等による観光列車の魅力向上、高速バス会社をグループ企業に持つ強みを生かした広報戦略の展開等、様々な増収策を行ってきました。さらに沿線自治体による京都丹後鉄道利用促進協議会のご協力のもと、スタンプラリー、丹鉄こども新聞の発行、地元団体および中学校の利用助成等の利用促進策も実施して参りました。また、合理化策として、待機時車両エンジン停止による燃料費抑制や、IT システム活用による事務作業の効率化等を実施し、経費の削減にも努めて参りました。

そのような状況下で、当社運行初年度は利用者数も 186.6 万人へと増加したものの、高速道路の無料区間延伸、人口減少の加速、高校の定員減少および統廃合、度重なる災害による減収等、今後の見通しにおいて現行運賃では収支の改善を図ることは困難な状況です。この機に将来を見据えて運賃改定を実施し、収益改善と経営基盤の強化を図るとともに、利用向上につなげるべく、利用者にとってわかりやすい運賃体系に変更したいと考えております。当社が運行会社として選定された際に交通分野の専門家の助言をいただいて運賃体系の見直しについて検討して参りましたが、開業までの準備期間が短かったこと、政府が消費税改定の方針を打ち出しており、度重なる改定を避けることで利用者の負担を軽減し、改定に伴う多大な労力および経費を削減するため、運賃改定を見送って参りました。なお、JR から

移管された北近畿タンゴ鉄道時代には2度の消費税改定による運賃転嫁しか行っておらず（平成9年4月1日消費税率3%→5%へと、平成26年4月1日消費税率5%→8%へ）、特に定期の割引率が他社と比較して高い水準であり、実態として、利用人員全体の約55%が定期利用者であるにも拘わらず、収入面では、定期収入は全体収入のわずか13%程度にしかなっておらず、現状では定期収入は非常に低水準であり、経営を安定化させるうえで大きな障壁であると考えております。

今回の改定では通勤定期割引率は約1.5%引き下げ（消費増税分を除く）させていただきますが、通学定期については、現行の割引率を維持し、消費増税相当分のみ改定とし、また、普通運賃は2%強の値上げ率で、全体として消費税分相当を少々上回る程度に収め利用者負担軽減を図り、かつ運賃の区切りをきりのよい50円もしくは100円区切りとすることで、利用者にとってわかりやすい運賃体系へと改定させていただきます。また、初乗り運賃を170円から150円に、バスと並行する区間の多い210円区間はバスと同額の200円に、最高1,800円であった長距離運賃を1,500円までに抑えることで利用促進を図ります。料金については特急車両や観光列車の魅力・価値向上分を50円区切りの値上げで収入を確保したいと考えております。

今後も京都丹後鉄道が地域の活性化に貢献し、経営の安定化を図りつつ、利用者のサービスや利便性を維持、向上させるために、運賃の変更について申請申し上げる次第です。

（2）申請の概要

①申請日 令和元年8月7日（水）

②改定率

普通運賃	2.038
料金	8.263
定期運賃 通勤	4.626
通学	1.852

③定期割引率

通勤	38.597
通学	68.515

(3) 申請・現行運賃比較表

①普通旅客運賃

	現行運賃			改定運賃		
	大人	大人	値上率	小児	小児	値上率
キ口	円	円	%	円	円	%
1～3	170	150	0.882	90	80	0.889
4～6	210	200	0.952	110	100	0.909
7～9	250	250	1.000	130	130	1.000
10～12	290	300	1.034	150	150	1.000
13～15	320	350	1.094	160	180	1.125
16～18	380	400	1.053	190	200	1.053
19～21	440	450	1.023	220	230	1.045
22～24	500	500	1.000	250	250	1.000
25～27	570	600	1.053	290	300	1.034
28～30	640	650	1.016	320	330	1.031
31～33	700	700	1.000	350	350	1.000
34～36	770	800	1.039	390	400	1.026
37～39	840	850	1.012	420	430	1.024
40～42	900	950	1.056	450	480	1.067
43～46	980	1000	1.020	490	500	1.020
47～50	1,050	1100	1.048	530	550	1.038
51～54	1,120	1150	1.027	560	580	1.036
55～58	1,190	1200	1.008	600	600	1.000
59～62	1,270	1300	1.024	640	650	1.016
63～66	1,360	1400	1.029	680	700	1.029
67～70	1,430	1450	1.014	720	730	1.014
71～74	1,510	1500	0.993	760	750	0.987
75～78	1,580	1500	0.949	790	750	0.949
79～82	1,660	1500	0.904	830	750	0.904
83～86	1,730	1500	0.867	870	750	0.862
87～90	1,800	1500	0.833	900	750	0.833

②定期旅客運賃

○通勤1ヶ月

○通学1ヶ月

	通勤1ヶ月			通学1ヶ月		
	現行運賃	改定運賃	値上率	現行運賃	改定運賃	値上率
キロ	円	円	%	円	円	%
1～3	6,230	6,260	1.005	3,640	3,710	1.019
4～6	7,780	8,130	1.045	4,540	4,620	1.018
7～9	8,950	9,330	1.042	5,230	5,330	1.019
10～12	10,120	10,560	1.044	5,910	6,020	1.019
13～15	11,280	11,810	1.047	6,590	6,710	1.018
16～18	13,610	14,210	1.044	7,550	7,690	1.019
19～21	15,950	16,720	1.048	8,530	8,690	1.019
22～24	18,280	19,180	1.049	9,500	9,680	1.019
25～27	20,610	21,510	1.044	10,470	10,660	1.018
28～30	22,940	24,080	1.050	11,440	11,650	1.018
31～33	25,280	26,540	1.050	12,410	12,640	1.019
34～36	27,610	28,930	1.048	13,390	13,640	1.019
37～39	29,940	31,320	1.046	14,360	14,630	1.019
40～42	32,280	33,630	1.042	15,330	15,610	1.018
43～46	35,000	36,610	1.046	16,460	16,760	1.018
47～50	37,720	39,300	1.042	17,600	17,930	1.019
51～54	40,440	42,210	1.044	18,740	19,090	1.019
55～58	43,160	44,960	1.042	19,870	20,240	1.019
59～62	45,880	48,130	1.049	21,000	21,390	1.019
63～66	48,600	50,870	1.047	22,130	22,540	1.019
67～70	51,330	53,790	1.048	23,270	23,700	1.019
71～74	54,050	56,390	1.043	24,400	24,850	1.018
75～78	56,770	58,950	1.038	25,530	26,000	1.018
79～82	59,490	62,140	1.045	26,670	27,160	1.018
83～86	62,210	65,220	1.048	27,800	28,310	1.018
87～90	64,930	67,800	1.044	28,940	29,480	1.019

2. 収支の実績および推定

	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	H31年度 推定	R2年度 推定	R3年度 推定	R4年度 推定
収入	1,165,976	1,111,596	1,092,424	1,092,975	1,208,108	1,243,840	1,256,617	1,269,216
支出	1,236,888	1,198,153	1,217,865	1,224,218	1,222,306	1,245,613	1,255,338	1,265,704
差引	△70,912	△86,557	△125,441	△131,243	△14,198	△1,773	1,279	3,512
収支率	94.27%	92.78%	89.70%	89.28%	98.84%	99.86%	100.10%	100.28%

3. 運賃収入内訳

(単位：千円)

	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	H31年度 推定	R2年度 推定	R3年度 推定	R4年度 推定
定期外	742,073	718,524	716,586	674,450	819,624	835,273	850,926	866,401
定期	138,727	143,839	139,984	125,200	142,204	139,328	136,453	133,577
合計	880,800	862,363	856,570	799,650	961,828	974,601	987,379	999,978

4. 輸送人員の推移および今後の需要見通し

(単位：千人)

	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	H31年度 推定	R2年度 推定	R3年度 推定	R4年度 推定
定期外	883	831	828	790	850	845	840	834
定期	982	976	952	861	936	916	896	876
合計	1,865	1,805	1,780	1,651	1,786	1,761	1,736	1,710
前年比	101.30	96.78	98.81	92.75	108.18	98.60	98.58	98.50

5. 設備投資について

弊社は上下分離方式の運行会社であり、施設保有会社である北近畿タngo鉄道様の協力のもと実施しております。

6. これまでの経営合理化の状況およびサービス向上のための施策

(1) これまでの取り組み

①経営合理化の状況

- ・待機時車両エンジン停止による燃料費抑制および地球温暖化対策
- ・複合機のカラー印刷管理による事務費抑制
- ・通信費一括請求サービス活用による経理事務省力化
- ・ITシステム活用による事務作業の効率化

②サービス向上および利用促進のための施策

- ・1時間毎に、ほぼ同じ時刻で発車させるパターンダイヤ導入
- ・最終列車の時刻繰り下げ
- ・特急型車両のリニューアル（丹後の海へ改造）
- ・一部特急車両への英語放送装置の導入
- ・地域のイベントと連携した企画きっぷの発売
- ・テレビ・新聞等マスメディアでの、観光列車や沿線のPR活動
- ・ホームページやSNS等、インターネットを活用したPR活動
- ・WEBサイトでの観光列車予約システムの構築
- ・貨客混載による収益強化と地域振興への協力
- ・丹鉄こども新聞の発行

(2) 今後の取り組み

①経営合理化について

現在実施しております経費削減策を、今後も引き続き実施してまいります。

②サービス向上、利用促進にむけた施策

- ・WILLERグループとの予約システム統合による販売促進
- ・WEBサイトの観光列車予約ページの多言語化によるインバウンド誘致
- ・クレジットカード利用可能対応駅の増設
- ・新型車両の増備

7. 運賃・料金の多様化について

(1) 新規商品の設定

- ・海の京都 天橋立・伊根フリーパス1 DAY：多言語対応
- ・海の京都 天橋立・伊根フリーパス2 DAYS：多言語対応

- ・城崎温泉・天橋立片道きっぷ
- (2) ご好評いただいている企画商品
 - ・家族お出かけきっぷ
 - ・京都みんなで特急回数券
 - ・定期特急回数券
 - ・4社パス（愛称：幸福パス）：多言語対応予定
 - ・あんしん通院ペア乗車券
 - ・片道通学定期券
- (3) 沿線自治体との連携による利用促進
 - ・200円レール
 - ・高齢者福祉パス
 - ・沿線団体への割引助成

8. お問い合わせ先

WILLERTRAINS 株式会社

〒626-0041

京都府宮津市鶴賀2065番地の4

[TEL] 0772-25-2323

(平日 9:00~18:00)

[FAX] 0772-25-2380

ホームページ <https://trains.willer.co.jp/>

報道機関からのお問い合わせは

WILLERTRAINS 株式会社 管理部 経営企画室（広報担当）

[MAIL] aya.konno@willer.co.jp